

急ぎ過ぎだよ 人類は。
ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 縄文

いろんな考えがあるから面白い
いろんな人がいるから楽しい

No. 529
2019年11月

編集・発行 鈴木厚正
〒266-0005 千葉県緑区誉田町2-21-359
T&F 043-291-2917

ま・く・じ

- あの山の向こうに ㊦ 2 ^{1P-3P}
- ジャサンダ・アンダーソンという 4
- 神津島への旅 8
- 「断片的なもの社会学」他 11
- ち便利から 14、26
- 山仕事(10月、大平) 24
- 台風19号 25
- ケ・い・い・ばん 26

誉田町がテレビに。

ごじ配を
おかけしました。
ありがとうございます。



風邪に
ご注意。

10月29日現在の
会員数246名

この見本誌をみて新たに

「読んでみようか」という方は、

2019年3月まで $7ヶ月 \times 250円 =$ 円を

郵便局で 00100-2-20630

「雑報友の会」

へ 申し込み下さい。

題 字 或 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)

カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※この号の切手は、

150th Anniversary of the Establishment
of Japan-Hungary Diplomatic Relations

日本・ハンガリー外交関係開設150周年

山仕事(10月、大平)

10月20日(日)。夕方に着く山崎さんを除き、康江、原田、落合さんと4名で。日没が早くなったので、家のそばの斜面と丑さんちの畑跡(ヨザ)の草刈り。康江さんと久米さんが調べてくれた夕食は、里芋とジャガイモの焼まんじゅう、ホウレンソウのアンチョビサラダ、秋サケのバター焼き、キノコのあんかけ、豆もやしのみんチ和え、茹で落花生、そして正士さんの手打ちソバと久米さんのだしおでこをいただく。

18:51兼地駅へ山ちゃん到着、久米さんが迎えてくれる。

この夜のテレビに水曜(みさく)の元乙女たち「山ヒロバスターズ」が登場するということで、ラグビー 対南アフリカ戦を見ながらチャンネルを変えるが、とうとう見当たらず。

10月21日(月)くも。家田の田んぼであせ草刈り。次いでソバ畑へ。なると、そろそろ実が入るはずのソバが、きれいに葉っぱもほとんどなくなり、茎だけが残っている。2週間ほど前、なにものかが一夜にして食べてしまったという。シカかイノシシか、はたまた正士さんによるとヨトウムシという可能性(説)もあるそうだ。しかし、ヨトウムシが一夜にして10アールを喰い尽くすとは信じ難い。イノシシの気配もないのでシカではなないか。細々とわき芽に白い花が咲いているが、まず収穫は皆無といえよう。周囲の草刈り。

昼は、キノコごはんにクリとピワゼリー(英ちゃんの家山みやげ)。

午後は、イノシシのオリがある東垂れの上、坂上さんの柿園の草刈り。坂上さんは3年ほど前に手をひき、「元氣里山」グループに入るのをやめて草だけ。オットビ(ヤブジラミなど衣服に種子がみつく植物の総称)のジャングルと化しているのを刈る。昨年はウラ年で一つもならなかったが、今年はけっこう実がなっている。よさそうなのを持ち帰ることにする。次第に雨が強くなり、16時に引きあげる。

夕食前、正士さんの頭痛のタネだった「財産区」問題。磐田市長あて正士さんの意見書と関係資料を前に、こもこも意見を述べる。それでもなかなか腑に落ちない様子。しまいには、かつて正士さんの係にいた若尾和孝さんの手紙が披露された。真摯に叱咤をして、広く意見をきくため月一回、正士さん宅で話し合う場を提案。自ら声をかけてメンバーを集めるという前向きな内容だった。これには皆大賛成。財産区に限らず、広くさまざまな問題を話し合ってもらいたい。

一段落したの夕食は、南瓜の煮つけ、レンコンヒナスとタコのマリネ、むし豚、ソーセージとブロックソバ。デザートに柿。

20時すぎ、お父さんの容態を気遣い、久米さんが帰宅。その足で郡山まで向かうという。日大事に。

10月22日、台風20号前線の雨が心配で、ぼくは朝帰り。天海線落倉で時間遅れ。娘さんを掛川まで送るお父さんに便乗。その後も電車が遅れ、18時帰宅。この日、富士山初冠雪。



- ・R-カル線にのるう。
- ・東北・福島へ行こう。
- ・なるべく平日に。



山中圭子さん
(ザ・シニアジャパン)

◆ 式根島でテニスと温泉 ◆

11月10～12日に予定でしたが、台風20,21号で島内大荒れのため、11月下旬～12月上旬、できればイセエビ漁に合わせて実施します。

◆ 山仕事を楽しむ会 ◆



ねこのて

安東明子さん

- ① 11月15(金)～17日 静岡・磐田市鈴木正士さん宅、
- ② 12月13(金)～16日 交通費自弁、会費3千円。
- ③ 1月6(月)～8日 → 14又15日、昨年行った島田市で山林整理。
- ④ 2月12(水)～14日 → 2月11日の匝瀬田菜から引き続き。

香田徹也さん

亡くなったこと、森川洋典さんから知らされました。
香田さんは林野庁OB。性剛達にして何ものとも恐れぬ勇氣の持ち主。
全農林林野庁分會委員長としてさまざまな活動に力を注がれました。
その傍ら、仕事の合間を縫って日本の林政史の大著を編集。雑報
編文の国立国会図書館納本に道を拓いてくれました。
三年ほど前に雑報の會員をやめたのは、体調不良のためだったのでは
うか。多くの人に惜しまれるから還る人となりました。合掌

◇ 自然災害の恐しさ。堤防決壊により浸水被害の大きさに驚きと、目を被うよ
うな状況に言葉を失う。1年かけて丹精をこめた米、果物。日経の春秋「水
の管理が重視し利水治水に努め人と水のえにし」水源の森から川下まで、古
いえにしが生んだ発想を今いかす時。全くその通り。

刈入れが終われば田圃に水をため、木は水をため、治水の流れに自然循環し
ていたのに、土地改良などで大型化され治水は埋立され、山は開発、針葉樹
が植えられ、護岸はコンクリート化され、自然破壊が起り一種の人的被害で
もある様に思えて仕方がない。

立て続けに起った台風、大雨の災害が連日テレビで報道されている。今迄に
千葉県には台風は上陸してもこんな被害は起らなかった。水害での無残な様
子、何も手助け出来ない。申し訳ない気持ちで胸が痛む。

我家も一部損傷があり雨漏りがして天井のクロスに大きな地図となって居
りクワバラ。職人の手配がつきにくく修理に時間がかかる様なので、大雨が
降らない事祈る今日この頃。(知らなかった。早く来るとういはずね)

スマホの電池がなくなり近くのショップへ。日々様変わり、わからない事ばかり
り。店員も相手にしたくない客ゆえ教えてくれない。「年寄りには死ねと言
うのか」とさえ頭をよぎる。説明書を読んで、やって下さいだつて。眼鏡持
っていかないのを見えないが、なんとか出来た、簡単。何事も挑戦なんだ。

アカウント: abikono832910
<http://twitter.com/abikono832910/>

川島章子さん
(千葉・我孫子市)